

# 洗心荘通信

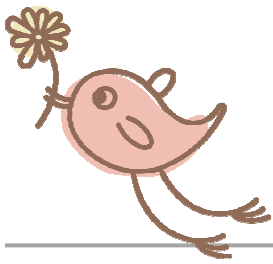
## Senshinsou-News

2013年5月8日発行

発行者：洗心荘広報委員会

TEL：0266-28-6537 FAX：0266-28-3949

URL：http://www.lcv.ne.jp/~sensinso



長かった冬も終わり新緑芽吹く季節となりました。日差しも暖かくなり始め、気持ちも軽くなりますね。しかし朝晩はまだまだ寒く寒暖の差も大きい頃です。体調管理をしっかり行い、風邪をひかないよう予防に努めましょう。

今回の洗心荘通信は、各行事の紹介と洗心荘で行われている研修会等の報告を行いたいと思います。



この日、3丁目のご利用者様と職員とでイチゴ狩りへ出かけました。3丁目のご利用者様全員をお連れすることは出来ませんでした。参加されたご利用者様からは「甘くて美味しい」や「イチゴのいい匂いがする」といった嬉しい声を聞く事が出来ました。

皆さん、新鮮な美味しいイチゴに舌鼓を打ちとっても楽しいイチゴ狩りになりました。

平成25年3月11日



とても甘いイチゴでついついご利用者様も職員も食べ過ぎてしまいました。参加できなかったご利用者様のお土産を買って帰り、施設に帰ってからもう一度皆で一緒に頂きました。



## 洗心荘からの お知らせ



平成25年3月1日付けで介護職員の異動がありました。該当するフロアでは、職員が変わりスムーズな業務を行うのに時間がかかるかもしれませんが、よろしくお願ひします。ご不明な点等ございましたら、お気軽にフロア職員まで声をおかけ下さい。

今後も、職員一同宜しくお願いいたします。

# 諏訪湖へ ドライブ



平成25年3月6日

この日は、透き通るような青空に恵まれた為、諏訪湖へドライブに出掛けました。

まだまだ諏訪湖の湖面には雪が残り、寒さが色濃く残っていましたが、白鳥や沢山の鳥たちを見ながら餌やりを楽しんでいらっしゃいました。



ご利用者様は、白鳥等を眺めながら、「今年も一杯来たね」と嬉しそうでした。

## ひな祭り

正面玄関前に飾られたひな人形と一緒に写真撮影を行いました。

皆さんひな人形をみると「かわいいね」「綺麗だね」「春だね」と笑顔を浮かべて話されていました。



## チョコレート フォンデュ会



バレンタインに合わせて「チョコレートフォンデュ会」を行いました。

皆さん「何を作るの?」と興味しんしん。皆さん一生懸命チョコレートを刻んだり、フルーツを切ったりして下さいました。

チョコレートの溶かした匂いが漂ってくると「美味しそうだね!早く食べたい!!」と楽しんでいただけましたようです。



# 豆まき会



節分に合わせ、職員が鬼となり、各フロアで豆まきを行いました。皆さん「鬼が来た！」「福は内～！！鬼は～外！！」と元気よくまいてもらいました。今年一年、皆さまが健康に過ごせますように…



↑ 馴染みの職員と素敵な笑顔を見せてくれました。



# 年末年始に行われた行事

## お餅つき会



あいにくの空模様となり、寒風吹きすさぶなか、餅つき会を行いました。寒さにも負けず、大きな掛け声とともにご利用者様、職員が交替で杵を振り、鏡餅 10 個分の餅をつき上げ、賑やかに季節の行事を楽しんでいただけたのではないかと思います。

つき上がったお餅は、鏡餅にして各番地に飾りました。飾られた鏡餅をみてご利用者様からは「新年を迎える準備ができたね」「上手に作れたね」等の声が聞かれました。



# 福笑い



洗心荘でも大事なく、新年を迎える事が出来ました。この日は素晴らしい朝焼けを眺める事ができ、とても良いスタートを切る事が出来ました。お正月の間はご利用者様も書き初めをされたり、お屠蘇を飲まれたり、カルタや福笑い等の遊びをしたりとお正月らしい生活を過ごされました。福笑いでは、絶えず笑い声がおこり、「そこじゃない！そこじゃない！」「もっと下だよ」等和気あいあいとした雰囲気の中で遊びを楽しんでいらっしゃいました。



# 洗心荘Report

洗心荘では、様々な勉強会、施設内研修会を行っています。そこで今回は、『喀痰吸引』の  
実地研修の様子をご紹介します。

今回は、基礎研修を修了した2名の職員の方と実地研修指導者の看護師の方にお話を伺いました。

## 浅川看護職員

平成24年4月1日からの改正法に基づき、認定を受けた介護職員が口腔内、鼻腔内からの痰の吸引、経管栄養の接続・注入等の医療行為を実施出来る様になりました。

本来は看護師が担うべき行為ですが、介護職員等が将来にわたってより安全に実施する為に必要な知識と技能を習得する事を目的とした研修です。

50時間の講義と演習からなる基本研修を終えると、いよいよ実地研修です。決められた回数以上実施し、成功しなければなりません。

改めて安全に実施する事の大切さを学び、今まで以上に職種間の連携と情報の共有を密にし、最良の状態でご利用者様の生活を支えていける様に頑張っていきたいと思いました。



## 齊藤介護副主任

9月から12月まで松本短期大学にて7回の講義を受けてきました。その中でも印象的だったのが体験講義のひとつ、自分達の鼻にチューブを挿入しそのまま講義を受けるという「鼻腔の体験」です。体験中は鼻の痛み、テープの痒み等の違和感…。だからご利用者様もとりたくて手が鼻のところに行くのかと発見もありどうしたらその違和感を少しでも緩和出来るか考える時間になりました。

筆記と演習の試験後、実地研修を洗心荘にて行い、講義で学んだことや体験し、感じた事を頭に置きながら無事に修了する事が出来ました。

研修で体験し、学習した事をご利用者様との関わりの中で発揮できるようにしていきたいと思っています。

## 吉澤介護職員

8月から10月までの期間、講義を受けてきました。

私は今回の研修に参加させて頂き、改めて介護職という人の命と生活をお預かりしている重要さを痛感いたしました。講義の中で、吸引のカテーテルを自分で実際に鼻に通す体験をしました。とても苦しく辛い思いでした。こうした辛い思いをご利用者様方はしておられるという事を自分の身をもって知る事が出来ました。

私はもっとご利用者様本位の気持ちになり、毎日安心・安全で幸せな生活を送って頂けるように日々の仕事に取り組んでいきたいと改めて感じました。

今回の研修に参加させて頂き、本当にありがとうございました。



編集  
後記

4月より、新年度がスタートしました。本年度も宜しく願いいたします。

今年は季節外れの雪と桜のコラボレーションは見事な景色を作りだしていましたね。まだまだ寒い日が続いていますが、皆さま体調には十分ご注意ください。

5月には、前期家族総会・洗心つつじ祭が開催されます。皆さま是非ご参加ください。